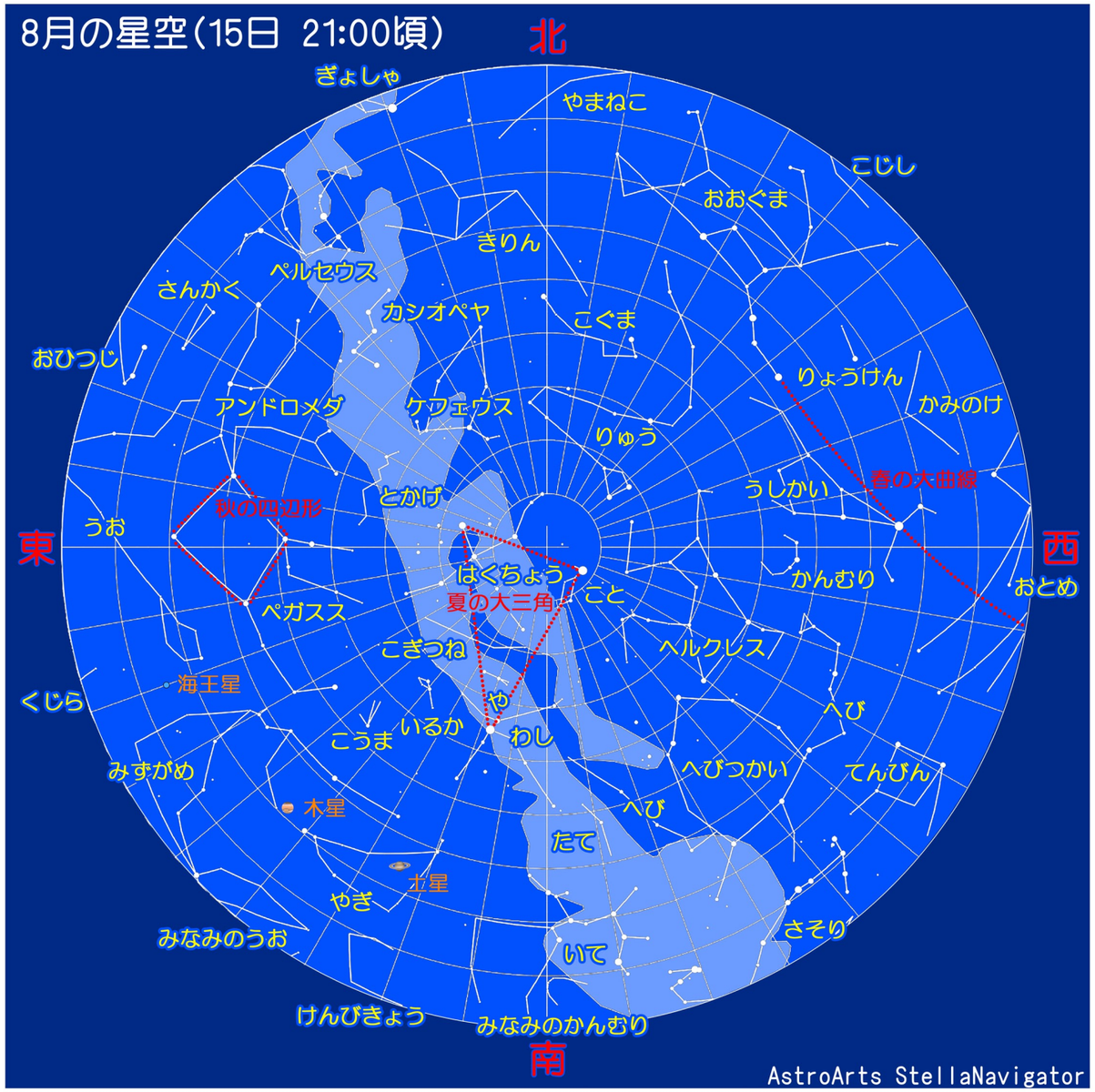
銀河の森天文台
2021年8月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M57（惑星状星雲）

こと座に位置する惑星状星雲で、リング状星雲やドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見える星雲です。

惑星状星雲は、恒星の進化の最終段階のひとつで、一生を終えようとする恒星（赤色巨星）が放出したガスが、中心の星が放出する紫外線を受けて光っているものです。M57の中心星は、天候の条件が良ければ、りくり望遠鏡で見ることができます。

距離：約2600光年

M57

月

		出	没
8日	● 新月	03:20	18:55
16日	◐ 上弦	12:57	22:37
22日	○ 満月	18:35	03:42
30日	◑ 下弦	21:49	12:32

天文台から月を見ることができるのは11～25日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

土星

見事な環を持つことで人気の土星が、2日にやぎ座で衝を迎え、見頃となっています。

あの不思議な土星の環は99.9%が水の氷から出来ています。

太陽からの距離：約14億3000万km

木星

太陽系で一番大きな惑星で、その直径は地球の約11倍にもなります。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が４個あるので探してみましょう。

太陽からの距離：約7億8000万km

M13（球状星団）

ヘルクレス座に位置する球状星団です。北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した、見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M27（惑星状星雲）

こぎつね座に位置する惑星状星雲で、鉄アレイのような形に見えることから、アレイ状星雲と呼ばれています。

明るく大きな惑星状星雲で、双眼鏡でも見つけることができます。

距離：約820光年

M11（散開星団）

たて座の天の川が濃くなっている部分（スモール・スター・クラウド）の中に位置する、密集度の高い散開星団です。

望遠鏡では、視野いっぱいに星が散らばっている様子を観察することができます。

距離：約5610光年

アルビレオ（重星）

はくちょう座のくちばしの部分に位置し、黄色と青色の色の対比がとても美しい二重星です。

宮沢賢治は、この星をトパーズとサファイアと表現したほどです。

距離：約434光年

ちょっとマニア

・NGC6826（惑星状星雲）

はくちょう座に位置する惑星状星雲です。中央の恒星を見つめると星雲が見えなくなり、そらし目をすると見えてくる様子が、まばたきのように見える事から「まばたき星雲」と呼ばれています。

距離：約1690光年

その他おすすめ

- M8（散光星雲）
- M15（球状星団）
- M20（散光星雲）
- M22（球状星団）
- M71（球状星団）
- NGC6826（惑星状星雲）
- ガーネットスター（恒星）
- ダブルダブルスター（重星）

8・9月の銀河の森天文台カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間
14:00～22:30
（4月～9月）
13:00～21:30
（10月～3月）

休館日